



< 第39号 >

東杏印刷は医療現場を支える皆様・患者様にとっての快適な医療空間づくりをお手伝いします

発行所



TOKYO PRINTING CO., LTD.

東杏印刷株式会社

〒178-0063

東京都練馬区東大泉2-11-4

TEL 03-3923-1101(代)

FAX 03-3923-1109

あんずだより編集部

http://www.tokyp.co.jp

スマートフォン専用



あんずだよりのバックナンバーがご覧頂けます

特集 コラム 相手の声がハッキリ聴こえる音声拡聴器

株式会社 伊吹電子 「クリアーボイス」

今月のあんずだよりは、株式会社 伊吹電子様の「音声拡聴器クリアーボイス」をご紹介します。こちらの商品は、「受話器の様に耳に当てるだけ」で声の聴こえにくい患者様へ、音声による伝達を充足する機器として、受付や診察室に設置頂ければ、患者様との快適なコミュニケーションのお役に立つこと間違いなしの商品です。更に個人情報漏洩防止にもお役に立ちます。是非一読下さい。

クリアーボイス誕生までの軌跡

聞いたたりして欲しい」と言う切なる思い・願いがありました。何をどうすれば良いのか分かりませんでした。考えを考えた末、「母の使い易い耳を助ける機器を自分が作れば良い」と言う結論に行きつきました。

母への思い

本来弊社は液晶制御装置や防犯監視カメラの製造を主としていたのですが、「音声拡聴器クリアーボイス」を製作するきっかけとなったのは、耳の不自由な私の母の存在でした。以前は明るくおしゃべり好きな母でしたが、耳が不自由になってからは家族との会話が徐々に減り、意思疎通がうまくいかなくなっていました。当時の私は、「以前のように母に自由に話したり



当時、母は補聴器を使用していました。母は補聴器を使用する中、ふと「耳に入れて使用するのではなく、音を増幅させるスピーカーの様な機器が良いのではないか」と閃きました。そこで、本業で使用している得意分野のプリント基板にスピーカーと電源を備えた簡単な試作品を段ボールで作成し、母の耳元に当てて呼びかけたところ、「おお！ よう聴こえる」とお国訛りの嬉しそうなお母の弾んだ声が聞こえました。これまで通りの母と

私にとっても、伊吹電子にとっても転機となった「クリアーボイス」ですが、最初に形となったのは段ボール製の試作品でした。(写真1)。この試作品のテストが上手くいっていな



写真①

忘れられない1号・2号

これら毎日仏壇に手を合わせる度に新しいアイデアが思い浮かび、現在も改良に改良を重ねています。きつと天から母が励ましてくれているのではないのでしょうか。



株式会社 伊吹電子 会社概要

代表取締役 松田正雄

商号 株式会社 伊吹電子

所在地 川崎市高津区下作延2丁目24-18

設立 昭和46年(1971年) 4月25日

事業内容 1. パターン設計・基板製作
2. 電子部品販売
3. チップマウント
4. プリント基板組立・実装
5. 自社製品「クリアーボイス」骨伝導クリアーボイス 他、開発・製造・販売

ければ、「クリアーボイス」が誕生することはありませんでした。先にもお話ししましたが、この試作品は段ボールの箱の中に小型マイクと再生用の小型スピーカーを入れたもので、大きな重さや能力との兼ね合いをどのようにするかと言った問題に何度もぶつかり日々悩んだのもがいつもの様に会話を楽しみ喜ぶ姿を見たかった。そんな思いに駆られつつも開発を進め、翌年1号機が完成しました。「クリアーボイス」と名付けられた商品化第一号機は本器の生みの親でもある母の墓前に供え、それから毎日仏壇に手を合わせる度に新しいアイデアが思い浮かび、現在も改良に改良を重ねています。きつと天から母が励ましてくれているのではないのでしょうか。

当初は高齢者を念頭に入れての開発でしたが、商品が出来るに連れて様々な場面での使い道があることも気が付きました。例えば、役所・銀行・病院などの受付で設置・使用して頂き、窓口の方が声の聞こえにくい方の耳元へ近づけてから話しかけるなど、今現在この商品が色々な場面・場所で必要とされていることを感じます。世の中の評価も戴くようになり、神奈川県川崎市の敬老祝いの記念品として選定頂き、更に川崎市の企業家ビジネスアイデアグランプリ大賞も戴くことが出来ました。

これまで下請け受注中心の伊吹電子でしたが、母への思いをきっかけに、この「クリアーボイス」が生まれメーカーとして脱皮することが出来ました。今

人の鼓膜は年齢を重ねると衰えてきます。その目安は概ね75歳と言われております。年齢を重ねても鼓膜自体がまだ機能している方は、クリアーボイスを使用することで聴こえを助けることができます。鼓膜が機能していない方には骨伝導クリアーボイスをお薦めします。骨伝導クリアーボイスは、集めた音を骨から内耳に直接伝え、鼓膜に負担を掛けずにより良い聴こえを実現します。

クリアーボイスと補聴器の違い

補聴器利用者の声として、「耳に入れっぱなしになると雑音まで大きくなる」「使うのは会話の時だけなのに着脱が面倒」「自分の声がとても変に聞こえて気持ち悪い」等をよく耳にします。利用者の声を基に必要な



写真③



写真②

は「ものづくり」の楽しさをひしひしと感じながら、これからは様々な分野で御役に立てる製品開発にチャレンジして行きたいと思っております。

「音声拡聴器 クリアーボイス」とは？

「音声拡聴器 クリアーボイス」は医療用具ではありません。誰でも簡易に受話ボリュームを大きく、聴き易くする性能を持つ福祉機器として、株式会社伊吹電子が製作・販売する「聴覚補助用具」の総称を言い、商標登録もしております。

クリアーボイスと骨伝導クリアーボイスとの違いは？

「音声拡聴器 クリアーボイス」は医療用具ではありません。誰でも簡易に受話ボリュームを大きく、聴き易くする性能を持つ福祉機器として、株式会社伊吹電子が製作・販売する「聴覚補助用具」の総称を言い、商標登録もしております。

選べる2色



ゴールドピンク



ブルーシルバー

BUKI 音声拡聴器®

- 実用新案登録済
- 意匠登録済
- 商標登録済
- PL 保険加入済
- 神奈川県基盤産業振興事業補助対象品
- 川崎市「新商品・新技術開発」対象製品
- 川崎市「敬老祝事業」選定品
- 川崎市「川崎ものづくりブランド」認定品

相手の声が大きくはっきり聞こえる

クリアーボイスの使用用途と目的

病院・クリニック・薬局等の受付に置いて頂き、声の聞き取りにくい患者様とのコミュニケーションをとりやすいツールとして是非ともお試しください。

●こんな時とても便利、コミュニケーションもラクラク



医師や看護士、介護士との会話に



習い事での先生の説明に



窓口での応対もスムーズ



テレビや楽しい一家団らんに

機能を出るだけシンプル且つ安価にと開発されたのが「音声拡聴器 クリアーボイス」です。是非一度お試し下さい。

